

～ ある日の鬼瓦物産(ファンシー雑貨販売業)その14～

『社長が考えていないといけない事、は何か？』

- 鬼瓦社長　くさたべ！一寸来い。
- くさたべ君　ハッ、ハイッ！（ドキドキキン……。又、オレ、何かやっちゃったかなあ……………）
- 鬼瓦社長　そこに座れ。……………ん？何でお前、床に正座するんだ？
- くさたべ君　“反省してます。”ってポーズの方が、あんまり叱られないんじゃないかと思って。
- 鬼瓦社長　叱るために呼んだんじゃない。ちゃんと椅子に座れ。……………ウソじゃないから、早く座れ。
- くさたべ君　は、はい。。。
- 鬼瓦社長　くさたべ、会社の社長がいつも考えていないといけないこと、それってなんだかわかるか？
- くさたべ君　え？え—————と……………わかりません。今期の利益の額ですか？それとも資金繰り？
- 鬼瓦社長　間違っていないが、正しくもない。トップが考えていないといけないのは、
今の方向に、今の調子で進んでいって良いのか？
ダメなら、何を、どう変えるべきなのか？
どこにお金を使ったら、うちの会社を良くなるのか？　　　　　だ。分かるか？
- くさたべ君　……………
- 鬼瓦社長　なぜ、俺が毎月お前とハル税理士法人の夏川君の話を聞くかわかるか？
- くさたべ君　正直 わかりません。それどころか、この前社長ったら「そんな報告なら、聞かなくてもいい。」って言いましたよね。
- 鬼瓦社長　俺はさっきの3点について、お前たちと話し合いと思ってる。
俺だって、自分の判断に常に100%の自信があるわけじゃないんだ。判断が間違っている時もあるだろう。その間違いを少しでも少なくするために、お前たちの意見を聞きたいんだ。
- くさたべ君　社長がそんな風に思っているなんて、考えてもみませんでした。
- 鬼瓦社長　どんな偉い社長でも、すべての情報が頭に入っていて確信をもって判断を下しているなんてことは無い。乱暴な言い方をすれば、みんな勘なんだ。
- くさたべ君　カン？みんな勘で経営してるんですか？
……………
- 鬼瓦社長　だから、お前は思った事をそのままオレに聞かせて欲しい。それと会社の味方である会計事務所にも、会社の状況をオレにはっきり伝えてくれるように頼んでおくんた。どこがおかしいのか、何故そう思うのか？
- くさたべ君　……………わかりました。わかりましたけど……………だから、僕は何をすればいいんですか？
- 鬼瓦社長　さっきの3つをいつも考えていてほしい。俺と同じことを考えて欲しい。
- くさたべ君　……今の調子でいいのか？ 何を変えたらいい？
……………何にお金を使ったらうちの会社は良くなるのか……………？
- 鬼瓦社長　話したかったのは、それだけだ。昨日は美樹の事ありがとう。美樹の部屋に泊まったんだって？これからも、頼む。俺はお前に期待してるんだ。
- くさたべ君　はい……………。
(え？？頼む？？どっちを？　それより社長は何を考えているんだろ？　それと今の話を聞いて俺にできるんだらうか？)